



琴丘中学校

閉校記念式典

「あいさつが元気な学校」三種中でも

64年の歴史きらめき続ける

11月1日、琴丘中学校において
閉校記念式典が行われました。

式典では、同校21期生でもある
大山正道校長が、学生時代の苦い
経験や、東日本大震災の翌日に挙
行した卒業式などを思い出として
あげたうえで「琴丘中の歴史は間
もなく閉じるが、みなさんの人生
は始まったばかり。社会で通用す
る人間の育成を目標とした学びを
糧に、豊かな人生を切り開いてほ
しい」と話しました。

生徒会長の工藤有晟さん（3年）
は「琴丘中での思い出は、私たち
が忘れない限り、心の中できらめ
き続ける」とし、下級生に向け「伝
統にしてきたあいさつや礼儀を、
三種中でも大切にしてほしい」と
話しました。

式典後の記念アトラクションで
は、総合的な学習の時間「みたね
タイム」の発表会や、全校合唱、
部活動紹介が行われ、最後は応援
団のエールとともに校歌が披露さ

れました。

会場には、歴代の卒業アルバム
が展示され、当時を懐かしむ卒業
生などの姿が見られました。

